

学校番号	学 校 名
4 8	土岐商業高等学校

令和５年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校教育目標	１．職員と生徒が一体となり、あらゆる教育活動を通して、質実剛健・明朗闊達な校風を樹立します。 ２．望ましい職業観を育成するとともに、誠実・勤勉で人間性豊かな産業人を育成します。 ３．普通教育と商業に関する専門教育との調和のとれた指導を通して、生涯にわたって、創意をはたかせ、進歩向上を図るための基礎的能力を育成します。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（ＧＰ）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（ＣＰ）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（ＡＰ）
	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな心をもつ土岐商生」 自分で考え行動しながら心にゆとりと自信をもち、他人を思いやり友人を大切にし、人間関係を充実させる生徒 ・「志が高い土岐商生」 学習、特別活動、進路選択において勤勉さと逞しさをもって失敗を恐れず挑戦し、自らが決めた目標を貫ける生徒 ・「地域とのつながりを大切にする土岐商生」 商業に関する専門性を活かしながら地域とつながり、卒業後は即戦力のある人財として、地元や社会への貢献をめざす生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本となる学力の定着を図るための普通教育とＩＣＴを活用しながらコミュニケーション能力と発信力を育成する専門教育 ・高度な資格取得を目標とし、学科・コースを自ら選択した上で取り組む専門的な学習 ・地域を含む外部との連携で、実社会の課題を知り、できることを考え実行していく機会を体験する「探究的な学び」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の校風と商業に関する専門的な学習や部活動に関心があり学びたい生徒 ・高校生活にしっかりとした目標を持ち、積極的に取り組み、挑戦したいという意欲のある生徒 ・地域と関わる機会があれば自ら進んで参加し、校内では共同・協働の機会である部活動や生徒会活動を通じて、より良い社会の礎となるために考えて行動できる生徒

教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 基礎基本の力の定着 「確かな学力」 「粘り強さ」	① 「観点別学習状況評価」を踏まえた指導と評価の年間計画（シラバス）を作成します。 ② I C Tを活用した授業研究を進めるとともに、各教科でコンテンツをデジタル化し、共有化に努めます。 ③ I C T機器を効果的に活用し、授業の実践と生徒理解の向上に努めます。 ④ 知識・技能の定着のため、適切・継続的に課す課題提示と進捗を確認します。また、必要に応じたオンライン対応により、コロナ禍における個々の能力に応じた学習支援を実施します。 ⑤ 朝読書や天声人語の書き写しを通じて、文章の読解力や語彙力を高めます。	① 学期ごとに評価に関するアンケートを実施し「評価に対して適切だと思う」が85%以上となることを目標とし、分かりやすい評価基準の説明と評価方法の改善に努めます。 ② 土岐商版ビックデータの構築を目指しデジタルコンテンツの共有化を推進して現行の25%増を目指します。 ③④ 各教科でのI C T活用の状況を適宜調査し検証したうえで、生徒アンケートを実施し「I C Tを活用した授業内容についての理解度」の肯定的回答が88%以上となることを目標とします。 ⑤ 図書館の利用状況や作文模試により評価し、貸出率10%増を目指します。
2 地域連携の推進と指導内容の充実 「共同・協働」 「コミュニケーション」 「課題解決力」	① 地域資源を活かした、産学官民連携を実践します。 ・昨年度おこなったクラウドファンディングを活用した地域連携事業の成果を踏まえ、地域に根差す資源を活用した新たな提案と実践を、産官学民がタイアップして魅力ある新規格を提案し続けます。 ・既存の地域情報提供サイト「T i s」や土岐商ショップの活動内容の充実を図ります。 ② イベント等への協力および出店による活動の場の有効活用に努めます。 ③ 生徒主導の中学校出前授業や1日体験入学などの中学校への働きかけを充実します。	①② 取り組みについてアンケートを実施し「興味・関心度が向上した」と回答する生徒が85%以上となることを目標とします。定期的に学校運営協議会で報告しご指導を頂きます。 ①② 協力関係機関に評価を含めたアンケートを実施して「地元への貢献度」や「教育活動としての取り組み」についての達成度を量ります。 ③ 参加した中学生や保護者に対するアンケートから、目的に対する達成度や好感度について評価します。
3 検定試験合格に向けての取り組みの充実と指導者の育成 「チャレンジ精神」 「専門性」	① 計画的な補習や対策週間を実施し、コースごとに検定対策に関わる指導の強化体制を構築します。 ② 自ら努力目標を掲げ、積極的に取り組み成長できる生徒の育成に努めます。 ③ 各専門コースの柱となる資格取得のバックアップ体制を構築します。また、教員間で情報を共有しコースの特色を生かした授業を実施します。	①② 授業アンケートにおいて「検定対策に関わる指導の充実度」が85%以上となることを目標とします。 ③ 各コースの柱となる資格の取得率が前年度よりも高い数値になることを目指します。

<p>4 生徒指導は、基本的な生活習慣を確立し、生徒の規範意識の高揚をはかる</p> <p>「基本的な生活習慣」 「礼儀」 「思いやりの心」</p>	<p>① 商業人に必要な基本的な生活習慣を身に着けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 志を高く、思いやりのある行動がとれるように商道徳を学び、自ら判断し行動できるように努めます。 ・ 「遅刻防止」「挨拶」「身だしなみ」に重点を置き、全職員が共通理解のもと指導します。 <p>② 全職員による交通安全指導のみならず、MSリーダーズや生徒会、委員会活動を活用し、生徒同士の働きかけによって問題意識を深めます。</p> <p>③ 生徒の様子や人間関係の実態を的確につかむとともに、保護者と連携して生徒を見守ります。</p>	<p>❶ 日常におけるマナーについて評価します。外部評価の項目「生徒の礼儀作法やマナー指導が積極的に行われている」の肯定的意見の回答が95%以上を目指します。</p> <p>❷ 交通事故件数ゼロを目指して指導します。</p> <p>❸ 年2回の「ハイパーQ U」や年3回の教育相談アンケートにより生徒の実態を把握します。</p>
<p>5 特別活動を通じて所属意識を高め、母校愛を育む</p> <p>「共同・協働」 「コミュニケーション」</p>	<p>① 部活動を通して人間形成を行うために、常に目標を定めながら練習に工夫を凝らし技能を高める取組を行います。</p> <p>② 委員会活動を活発にするとともに、自主的な活動となるよう支援します。</p>	<p>❶ 各部活が上位入賞を目指します。また、途中退部者が出ないように良好な人間関係を築き、部活動加入を積極的に促す。</p> <p>❷ 各行事終了後、アンケート調査により改善点を次に生かします。</p>
<p>6 進路指導は、自己の生き方を考え、主体的に進路を選択し実現することができる能力や態度の育成</p> <p>「自立・自律」 「向上心」</p>	<p>① 望ましい勤労観・職業観を育成します。</p> <p>② 学年に応じたキャリア教育を推進し、将来の夢や希望の実現に向けて主体的な進路選択ができるよう情報提供に努め、ガイダンスの機能を充実させます。</p> <p>③ 「行きたい大学」「就きたい職業」への進路を実現できるよう確かな学力や専門的な知識・技能を身に付けるための指導を充実させます。</p>	<p>❶ インターンシップの自己評価・企業アンケートにより、達成度を確認します。</p> <p>❷ 進路ノートを活用状況やキャリア・パスポートの内容から、主体的に取り組めたか評価します。大学見学会や就職ガイダンスへの参加率100%を目指します。</p> <p>❸ 朝のSHRで実施する一般常識や入社試験対策の小テストの正答率が7割を超えるように指導し、希望進路達成率100%を目指します。</p>